

海外安全対策情報（令和6年度第1四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) パラナ州公安局発表による犯罪資料報告によると、パラナ州における2023年の殺人事件の発生件数は、1,837件（前年比9.3%減）。クリチバ市における2023年の殺人件数は、200件（前年比24.8%減）。クリチバ市の殺人件数を人口10万人あたりで見ると11.3件であり、日本の0.73件を大きく上回る。
- (2) パラナ州における2023年の麻薬の密輸・密売件数は、12,243件（前年比21.2%増）、麻薬の所持・使用等犯罪件数は、13,358件（前年比50.1%増）と麻薬に関わる犯罪が増加傾向にある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) クリチバ市を含む大クリチバ圏においては、銀行、住居、店舗及びレストラン等を狙った武装強盗のほか、車両強盗、長距離及び路線バスを武装集団が強盗目的で襲撃する事件が昼夜問わず発生している。
- (2) パラナ州はパラグアイ国境からブラジルに流入する大量の麻薬（大麻、クラック、オキシイ等）及び銃器類をはじめ、一般商品の密輸入ルートとなっており、麻薬等密輸組織絡みの殺人事件も頻発している。
- (3) クリチバ市内においては、銀行で現金を引き出した者を狙った強盗が頻発しているため、必要以上の現金を引き出さない等の注意が必要。

3 犯罪事例（4月～6月）

- (1) 4月2日正午、ジャルジン・ダス・アメリカス地区（Jardim das Américas、クリチバ植物園（ジャルジン・ボタニコ）から約2.2キロメートル）のショッピングモール（Shopping Jardim das Americas）付近のホドルフォ・セーフ通り（Rua Rodolpho Senff）において、子供連れの女性が二人組の男に自動車を奪われそうになった。異変に気づいた通行人が叫び声をあげたところ、近くにいた警察官が駆けつけ、犯人と銃撃戦となり、犯人の一人は死亡、一人は逮捕された。
- (2) 4月5日の朝、セントロ地区（Centro）キンゼ・デ・ノヴェンブロ通り（Rua XV de Novembro、在クリチバ日本国総領事館から約1.4キロメートル）において、通行人の男性が歩行中に、ホームレスの男から金銭を要求され、男性が要求を拒否したところ、背後からホームレスの男に刃物で刺された。男性は左腕を負傷し、病

院に搬送された。

- (3) 5月2日の午後8時40分頃、クリチバ市アブランシェス地区 (Abranches) とアルミランチ・タマンダレー市 (Almirante Tamandare) の区間を走行中のイタペルスー
プラッサ19線 (Itaperuçu-Praça 19) のバスが男女2人組の強盗に襲撃された。
犯人は乗客に刃物を突き付けて金銭を要求し、抵抗した乗客の男性が刺された。男
性は重傷を負い病院に搬送された。
- (4) 5月9日夜、クリチバ市ウベラバ地区 (Uberaba) アチリオ・ピオト通り (Rua
Atílio Pioto) において、34歳の女性が男に襲撃された。強盗は女性の手を刃物
で複数回刺し、所持品を奪った。女性はけがを負い、病院に搬送された。
- (5) 6月9日夕方、クリチバ市内のバリグイ公園 (Parque Barigui) で傷害事件が発生
した。銃を所持した50歳の男が、2人の歩行者に襲いかかったが、歩行者の反撃
を受け、取り押さえられた。襲撃された歩行者の1人は、手を骨折する怪我を負っ
た。なお、今年の3月と5月にも同公園で同様の傷害事件が発生している。
- (6) 6月16日夜、クリチバ市アウト・ダ・グロリア地区 (Alto da Gloria) を走行中
のサンタ・カンジダ/カパウン・ハズ線 (Santa Candida/Capao Raso) のバス車内
で殺人事件が発生した。被害者の男性は、乗客同士の口論を仲裁しようとしたとこ
ろ、2人組の犯人の1人に取り押さえられ、もう1人の犯人に刃物で腹部や背部、
首を複数回刺され死亡した。犯人達は逃走したが、巡回中の警察官に逮捕された。